

すぎなみ社会起業家塾～イノベーションは杉並から起こす～

3月1日 「ビジネスモデルを描く」宿題提出

東島信明

設問1 自分が関わりたい課題の、現在の状態を描いてください。

1) 自己分析・・・現在、考えていることは「自分の居場所づくり」

脱却して何かお役に立てぬか

個人の立場はボランティアで「人生仕上げのとき、締めくくりの時」を意識

知の市庭の由来は智慧等の交換・交差・交易で、共鳴するコミュニティー作りに寄与、

情報リサイクルをしたい

老荘世代と若い世代の交流

2) 主体的に活動しているNPO

知の市庭活動として：すぎなみ大人塾、すぎなみ学倶楽部、NPOすぎなみ、

(杉並子どもの居場所づくり実行委員会) 永福和泉地域セン

ター委員、筑波学園病院図書館づくり、NPOつくばEPO

図書館SF

：絵本活動(パル 本よみたい)との連携、方南小地域子育て

ネットワーク

3) 自分の課題

杉並地域のNPO・ボランティア・地縁活動の基となる資料とコンテンツづくり並びに書籍、データ、写真等を提供できる組織をつくれぬか。

地域ボランティア(5年)をしてきた経験・資源等を生かして、事業アイデアを出してみたい。

設問2 それを解決するために、何をすればいいのか？

1) あなたの目指す目標を再確認してください。

杉並内外のNPO・ボランティア活動をする際に、データをもっと欲しくなる。

NPO活動者がつくる区民の為のデータ、書籍情報等を提供できたら、地域活動をしている方々の情報ニーズに合うのではないか。

2) あなたのリソースを思い出し、活用してください。

リソースを知る「社会とのつながりを描く」(05・12・21日、06・01・18日の宿題)を参照してください・・・別表あり

設問3 具体的な解決方法として、「事業アイデア」を描いてください。あくまで「事業」として考えましょう。

### 1) 事業コンセプト～各地域の情報発信力が向上するために

(誰が、誰に、何を、何とために、どうして、どのように)

- ・杉並区内外で活動するNPO・ボランティア・団体の人々に
- ・多種多様な活動に対する有効な(最適な)データを
- ・多角的な視点を持って、ワンストップで提供し
- ・異分野、異業種の活動グループをコーディネートします
- ・会員の活動主旨に目を向けた相談等を承ります
- ・学校、地縁組織(町会・防犯・防災など)等を新たな顧客として捉えます
- ・提供されたデータ、知見はまとめられて、すぎなみ教育委員会HPに掲載される

有効・最適なデータとは

<相談>

- ・NPO・ボランティア・団体の情報ニーズの把握後
- ・書誌・書籍・プリントメディアなど(広報誌・フリーペーパー等)、NETメディアを活用して
- ・多様化、分岐する情報を確実に捉え
- ・現実的で個性あふれる活動計画等の策定に寄与します、情報発信代行もします

### 2) 具体的な情報提供をする事業計画

- ・書誌・書籍データ等の入手は杉並区立中央図書館の地域資料室データを有効に利用することから始まる。またそのデータを加工することから新たな情報も生まれます。尚、地域データは中央図書館のほか、郷土博物館、区民相談部、議会資料室などに分散保管されている。
- ・NETメディアからの抽出  
情報の正確さを検証すること、著作権に触れないように等留意することがあり専門的な分野となっています。
- ・区内に散在するNPO等の活動記録、報告書等の検証をして再利用を積極的に働きかけます。この過程で、各種各様の講座資料が出来ると考えています。

### 3) 情報を提供する事業として

- ・無償で提供する案

中央図書館の資料室に関わる。学校図書館への資料提供も可能となるので、地域区民、PTAとの情報交流が盛んになります。地縁組織への情報提供と情報発信(代行)機能向上にも役立ちます。

- ・有償で提供する案

公募(財団、社団、NPO,行政等)資料をNPO等が作成する場合の添付、付属資

料を提供する

4) 事業理念

考え、学び、活動し  
共に生き、  
知の還元を行う

5) 事業を組織化する

- ・コアメンバー  
大人塾参加者中心にメンバーを募る